



ポートランド日本人学校だより

2015. 11. 7

第15-28号

わかば

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

新入園児募集・新入学児童募集



2016年度 幼稚部入園・小学部入学希望者説明会及び選考テストの御案内

ポートランド日本人学校では、2016年度幼稚部入園及び小学部1学年入学を希望する園児・児童の保護者を対象に、以下の要領で入園・入学希望者説明会を実施致します。

入園・入学選考テストの日程は以下の通りとなっております。別の日に選考テストを受けることはできません。お子様の入園・入学を希望される保護者の方は、日程に御留意下さいますようお願い致します。

このご案内は、ポートランド日本人学校ホームページにも記載いたします。

ご質問等ございましたら、事務局までご連絡ください。

TEL: (503) 641-9200 (火～金) E-mail: pjs@shokookai.org



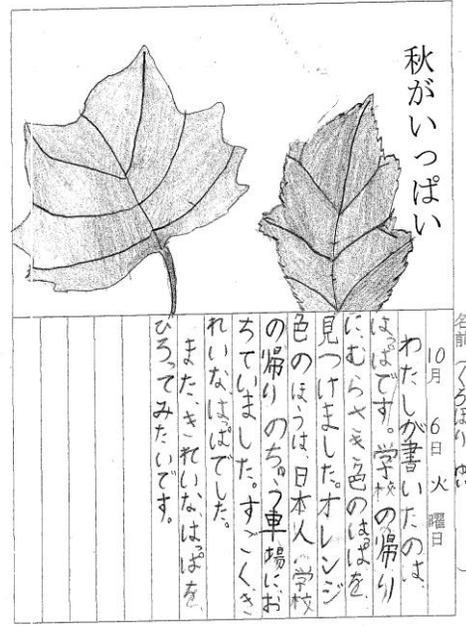
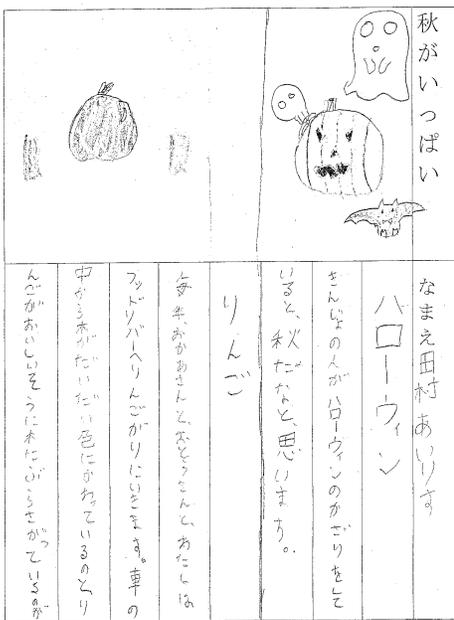
入園入学希望者説明会

	幼稚部	小学部
対象	2016年度幼稚部年長組に該当する年齢以上の者	2016年度小学部1学年に該当する年齢以上の者
日時	2016年1月16日(土) 9:30~10:30 am	2016年1月16日(土) 10:30~11:30 am
場所	ポートランド日本人学校 (Hazelbrook Middle School) 会議用教室 11300 SW Hazelbrook, Tualatin, OR 97062	
内容	幼稚部説明、選考テスト時間の割振り、 幼稚部活動見学	小学部説明、選考テスト時間の割振り、 小学部授業参観

入園入学選考テスト

	幼稚部	小学部
実施日	2016年2月12日(金) 予備日 2月17日(水)	2016年2月 3日(水) 予備日 2月 9日(火)
場所	ポートランド日本人商工会事務局 10700 SW Beaverton-Hillsdale Hwy Suite 600, Beaverton, OR 97005	

児童生徒の作品



2年3組 田村あいりす

2年2組 高松 英里

2年2組 黒堀 結衣

「大人になれなかった弟たちに」を読んで 中学部1年 山田 晴久

「戦争」とは、怖いもので絶対にしてはいけないことだということは誰もが分かっていることだと思ふ。戦争に関する本を読んでも、実際に体験していない者からすると、戦争の本当の怖さはわかっていないのかもしれないし、自分の今までの辛かった経験も、戦争を経験してきた人たちのつらさとは比べものにならないくらいのことかもしれない。

ぼくはこの本を読んで、筆者の「ひもじかったことと、弟の死は一生忘れません。」の言葉が強く心に残った。生きていて空腹というのは、とてもつらいことである。「たった一缶のミルク」これが弟のたった一つの食べ物で、これが無ければ弟は生きていくことが出来ないとわかっていたのに飲んでしまった筆者。兄なのに何故弟のものを取るのかとか、何故我慢出来なかったのかなどと責められても仕方がない行為ではあるが、もし、自分がその時代に生まれ、同じ状況に置かれていたとして「これは弟のものだから」と自分に勝つことが出来ただろうかと思ふ。

日本にいれば、小学校や中学校の授業で日本から見た戦争についての勉強をしたり、修学旅行などで広島原爆ドームなどを訪れて、実際に戦争がどのようなものだったのかを知る機会がある。今、アメリカにいるぼくは、そのような機会を持てなかったが、自分の行動次第で機会を作ることが出来ると思ふ。

二度と繰り返してはいけない戦争。戦争を知らない世代であるからこそ、もっと戦争のことを知らなければいけないと、この本を読んで感じた。筆者のように、ずっと自分を責めながら、後悔しながら生きていく人がいなくなるような、みんなが笑顔で暮らしていけるような世の中になってほしいと思ふ。

「おしおれのぼうけん」を読んで 2年3組 井上 倅一

これは、さいしよ、さとしとあきらが水の先生におこられて、おしおれの中に入って、ねずみおばあさんとたたかうおはなしです。

ぼくはどきどきしました。どうしてかというと、さとしとあきらがどうなるかわからなかったからです。

ぼくは、あきらがねずみおばあさんにおそわれていて、どうなるかとおもいました。そして、さいごは、ねずみおばあさんを、やっつけました。よかったなと思ひました。

「だんごせんちょうのたんけん」を読んで 2年3組 芦田 悠太郎

だんごせんちょうのふねが、ひょうざんにひっかかってうごけなくなりました。そこにいんせきがおちて、ふねが、南の国にとんでいったおはなしです。

ぼくは、この本をよんで、南の国にきょうりゅうえんができたのがおもしろかったです。ぼくも、南の国に行ってみたいと思ひます。どうしてかということ、むかしのきょうりゅうを、見るのがおもしろいからです。

